



電子契約の国内標準 クラウドサイン



売上
シェア
No.1^{※1}
電子契約サービス市場

契約
送信件数
No.1^{※2}
電子契約サービス市場

市場
認知度
No.1^{※3}
電子契約サービス市場

導入
自治体数
No.1^{※4}
電子契約サービス市場

弁護士監修 / 日本法準拠

※1：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2021年版」調べ

※2：電子契約総合研究所調べ。調査方法は外部調査機関によるヒアリング及びアンケート調査による。国内事業者から国内事業者（企業または個人）に対する電子契約送信とする。

※3：電子契約総合研究所調べ。調査方法は外部調査機関によるアンケート調査による

※4：実証実験を除く自社調べ

契約締結から管理まで可能なクラウド型の電子契約サービス

契約交渉が済んだ完成済みの契約書をアップロードし、相手方が承認するだけで契約書を結ぶことができます。書類の受信者はクラウドサインに登録する必要がありません。



クラウドサイン導入のメリット

1. 契約のスピード化

従来の紙と印鑑での契約締結



クラウドサインでの契約締結



2. コスト削減

従来の会社

人件費 (印刷・郵送・回収・保管作業)	260円	0円
郵送費用 (レターパックライトの場合)	370円	
その他 (封筒・用紙・印刷・保管)	100円	
印紙代	~60万円	

※1契約あたりの費用

1,000件契約締結する場合、70万円もの無駄なコストが発生します (1件あたり700円)。また、電子契約は印紙税が不要です。

3. 情報のデジタル化



検索や、更新時期の自動アラート機能による業務効率化や、改ざん・紛失・漏えいなどのリスク回避ができます。

導入企業 **130万社超**

大企業からベンチャー企業、地方自治体など、業種・規模を問わず契約を締結する企業全てを支援しています。